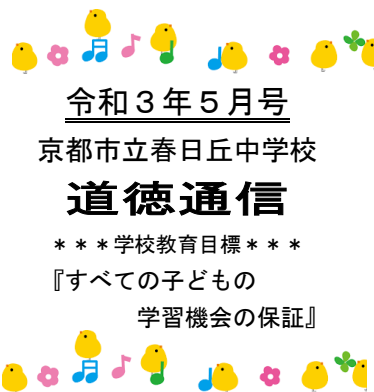




Kasugaoka J.H.S

明日への扉

アスヘノトビラ



令和3年5月号

京都市立春日丘中学校

道徳通信

学校教育目標

『すべての子どもの

学習機会の保証』

はやいもので、今年度がスタートしてもう2ヶ月が経とうとしています。さて、この2ヶ月を振り返ってみると、学校生活が始まったものの、やはりすべてのことが例年と同じというわけにはいきません。今もなお、緊急事態宣言が発令されており、予断を許さない日々が続いております。みなさんにとっても“我慢”することが多い日常ですが、今できることを大切にして、1日1日を過ごしていってほしいと思います！

この“明日への扉”（道徳通信）も今年度で5年目となりました。昨年度に引き続き、今年度も定期的に発行していきたいと思います。ホームページにもアップしますので、おうちの方と一緒に見てもらえたらなと思います。「心の豊かな人になってほしい、地域に貢献できる人になってほしい」、これが私たち春日丘中学校の教職員の願いです。



——*—*—*—授業の様子を紹介します—*—*—*—*

“自分の性格が大嫌い！”

タイトルだけ見れば、とてもネガティブに感じるかもしれません。生徒の中にも、自分の性格が嫌いであると答えた人が数名いました。自分の長所よりも、短所のほうがすぐに思い浮かぶ…そう答えた生徒も少なくありませんでした。今後、自分の性格とどう向き合っていけばいいのでしょうか。

主人公である「私」は、このように考えました。『人間の「短所」と「長所」って、結局は同じ部分の裏表なんじゃないか』と。自分の短所として優柔不断であることを挙げたとします。それを直す中で、その人の長所である優しさまで失われてしまう可能性もあります。この「優柔不断」と「優しさ」といったように、短所と長所とは裏表の関係にあることが多いと考えられます。

以上のような内容の教材を通して、生徒一人ひとりが自分をより深く見つめることにつながりました。自分の短所だけしか思い浮かばなかった生徒がその「裏」を考えて長所を追記したり、逆に長所と思っている部分も見方を変えれば短所に結びついてしまうのではないかと考えたりといった姿が見られたのです。なお、この授業を経て、後日の学活で生き方探究パスポートを記述していききました。

《ワークシートより（授業の感想）》

- 短所を裏返すと長所、長所を裏返すと短所になることを知り、ぼくは長所に気づけなかったので短所から長所を見つけていきたいです。
- 自分のきれいな所を直す、ということがやっぱり難しいんだなと思いました。けれど、そのきれいな所をプラスに考えることで、少しでも自分のことを好きになれる、それが分かってよかったです。
- いつも自分の短所はどうしたらなおるのかなと考えていたので、この話を聞いてちょっとだけ自信がもてました。
- 人には必ず、長所も短所もあります。そのことを自分だけでなく、周りの人も認めてあげることが大切だと思いました。また、短所だけを見るのではなく、長所もしっかり見ることが大切だと思います！！



“私のせいじゃない”

学校の教室で一人の男の子が泣いています。一体どうしたのでしょうか。他の子どもたちの言い分はこうです。「学校の休み時間にあっただけで、わたしのせいじゃないわ」「始まったときのこと見てないからどうしてそうなったのか、ぼくは知らない」「本当はわたしみたの。だから知っているの。でも、とにかくわたしのせいじゃないのよ」どうやらイジメが原因で男の子は泣いているようです。ところが、他の子どもの言い分はどこか他人事。自分が加担していなければ悪くないのでしょうか。みんながしているなら許されるのでしょうか。少しだけなら許されるのでしょうか。イジメられるほうが悪いのでしょうか。

責任について考えることは、自分の人格を見つめなおすことなのかもしれません。大変なことではありますが、とても大事なことなのです。この授業を通して、責任について考えてみるのはどうでしょうか。

《ワークシートより（授業の感想）》

- 自分の責任について自覚するのは難しいけど、人のせいにするのは、すごく簡単で怖いと思いました。私も、人の考えを否定するのではなく、それを認めていける人になりたいと思うし、大人になっても人に責任を押し付けるカッコ悪い人になりたくないと思いました。
- 結局周りに流されていたらダメなことはなかなか解決せず、どんどん悪化していくので、そのような悪い出来事を身近で見たら、ダメだと言える人が一番人として良い心を持っている人だと思いました。しっかり自分からあかんことはダメ！と言えるようにしたいです。



“スマホに夢中”

みなさんは、スマホを操作しながら“危ない”と感じたことはありますか？…今回のお話は、スマホに関する内容です。ある調査によると、90%以上の人が歩きスマホが危険だと感じている反面、その70%の人が歩きスマホの経験があるという結果が出ています。なぜ、危険だとわかっていながらも、歩きスマホをしてしまうのでしょうか？…そして、みなさんは今日の授業で何を感じましたか？この機会にぜひ自分自身のスマホの使い方を見直してみてください。



《ワークシートより（授業の感想）》

- 自分も歩きながら、スマホを見たり、自転車に乗りながらLINEの返信をしたりしたことがあったので、今後はやめて気を付けようと思った。
- つい最近、自転車に乗りながらLINEや電話をしていたので、自分も少し考えないといけないなと思いました。まだ、事故をしたことがないので、あまり危機感がありません。でも、いつか自分も事故にあうと思って気を付けていきたいと思います。
- 自分も歩きスマホをしていて、電信柱にぶつかったり、溝に落ちたことがあるので十分気を付けたいと思いました。スマホで自分や周りの人を悲しませたり、苦しませたり迷惑をかけないように正しい使い方をして使っていきたいと思います。
- 歩きスマホは自分だけじゃなくて、他の人にも被害があるかもしれないので、意識をスマホだけに向けるのではなく、他のことにも向けようと思った。